



3

第3種郵便物認可

①東北・上越新幹線が相次いで開業(昭和 57年。写真は昭和60年の上野駅乗り入れ) ②国鉄分割民営化で JR 7 社が発足(昭和6 を本紙は常に追い続けた(観議連主催の「列 島観光会議」。右は観議連の佐藤文生会長 = 当時)④本紙主催「にっぽんの温泉100 選」が昭和62年にスタート(審査会の模様) ⑤日観連はじめ業界の各団体の動きも逐一 追った(昭和53年の日観連通常総会)





この30年で観光業界をれている。では観光業界のさまざまな出来事を追い続けて2500まなが、観光業界のさまざまな出来事を追い続けて2500まなシーンとらえてきまなシーンとらえてきまなシーンとらえてきまなシーンとらえてきた。その一部を振り返ってみよう。

①国内観光振興に寄与したTAP(写真は第1回中央会議)②国内旅行振興のための「リアル・ジャパン・サミット」が開かれる(平下呂温泉の給湯タンクが活躍(平成7年)④を柴鉄三国交相に要望書を提出した(平成13年4月7日付)⑤サッカーW杯を日韓が共が風評被害対策に取り組んだ。東北の女将らは冬柴鉄三国交相に要望書を提出した(平成14年)⑥愛知県で「愛・地球博」開催(平成17年)⑥愛知県で「愛・地球博」開催(平成17年)⑥愛神が歓迎を受けた(平成12年9月30日付)







中国第53年基連常総会

業界再編の波

⑧近畿日本ツーリスト、日本旅行の合併が決まるが、 年明けには白紙撤回(平成13、14年。写真は平成14年 2月9日付) ⑨日本航空と日本エアシステムが統合。 国内航空は2強時代に突入(平成14年)

8







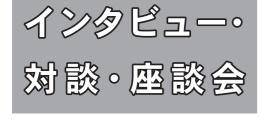


リアル・ジャパン・サミット

Real

Japan







瀬島龍三・観光政策審議 会会長に「あすの日本の 観光」を聞く(平成7年)



華やかな女性経営者で鼎談(平成20年1月5日付) ■本紙と関係の深い、二階俊博衆院議員も紙面に登場(平成20年10月11日付)

創長 大手旅行会社社長座談会(平成21年1月1日付)年、国鉄の片岡旅客局長と)②新春恒例となった①本紙対談の常連だった高峰三枝子さん(昭和60



観光庁創設にあたり金子一義国交相と本保芳明観光庁長官 が看板の除幕を行った(平成20年10月4日付) ◀1500人が一同に会した推進の集い(平成20年10月11日付)